



参加無料
申込み不要
定員 100名

石川線の近未来を考えよう!

上下分離・LRT化・都心延伸・IR線直通

北陸鉄道石川線の姿が今、大きく変わろうとしています。

①北陸鉄道線のあり方をめぐる法定協議会が開かれ、地域公共交通計画が策定されます。②金沢市の「新しい交通システム」の導入にあたり石川線の需要拡大策が一体的に検討されています。③西金沢駅での北陸線（IR いしかわ鉄道線）への直通が物理的・技術的に可能です。

この①②③の一体不可分性を踏まえ、都市近郊路線としての潜在力や可能性を活かすには、「都市の装置としての鉄道」、そして「都市経営の一環としての鉄道経営」といった新しい視点で、石川線を捉え直すことが必要です。

そこで登場するのが「官民分担型の上下分離方式」。その基本的な考え方から具体的な制度設計まで、鉄道の整備・運営制度の専門家で、実務経験豊富な金山洋一富山大学教授に、社会課題解決の視点でお話いただきます。

講演

「都市の装置」としての石川線の再生

金山洋一

富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科教授

82年、国鉄入社。国鉄改革に伴い日本鉄道建設公団（現・独立行政法人鉄道・運輸機構）に転じ、89年、運輸省（現・国土交通省）大臣官房国有鉄道改革推進部に出向。97年から鉄道建設公団にて制度検討、全国の鉄道の調査、計画等に当たる。05年、鉄道分野の官民分担論（上下分離）に関する研究で東京大学博士号（工学）を取得。06年から北陸、東北、北海道の各新幹線の建設等に携わり、北海道新幹線建設局長、本社技術企画部長などを歴任。18年、富山大学新学科設立とともに現職。富山大学都市政策支援ユニット長、鉄道再生・整備支援センター長。

報告・意見交換

LRT化・IR いしかわ鉄道線直通の提案

金沢・LRTと暮らしを考える会

日時

2022年8月7日（日）
15時～17時（14時30分開場）

場所

金沢歌劇座
金沢市下本多町6番丁27番地

主催

金沢・LRTと暮らしを考える会
<http://kanazawa-lrt.com/>

共催

金沢都市圏新交通導入議員連盟

お問い合わせ

info@kanazawa-lrt.com

●オンライン配信（Zoom）も！
参加申込みはこちらから →
（定員95名／8月5日締切）

